

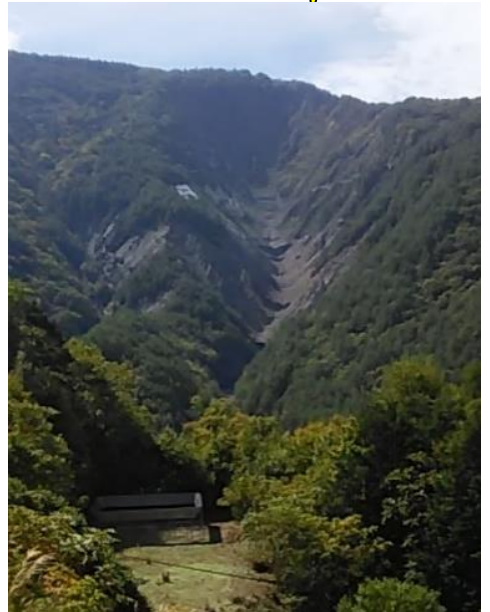
<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町68番地 N T T 054-284-3608 発行責任者 半場弘恭 2021年7月22日 No.4</p>
--	-----------------------------	-----------	--

熱海の土石流で行方不明となられた皆様が一刻も早く発見されることを願うと共に、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

リニア工事残土熱海土石流で問題！

残土は熱海盛り土の 65 倍！

7月15日、リニア中央新幹線建設トンネル工事による残土が、熱海土石流のようになるのではないかと大井川住民ネットワークが国土交通省に申し入れをしました。熱海土石流災害の盛り土は総量5万5,500㎡でしたが、大井川源流に近い燕沢南アルプストーンネル掘削工事で大量に発生する残土は、360万㎡とされています。これを、大井川上流の燕沢東岸に、長さ1km、高さ70mにも及ぶとされています。熱海土石流災害の盛り土の約65倍です。残土置き場周辺では過去に何度か岩盤崩落が起き、



長野県大鹿村 鷲ヶ巣の大崩壊
 専門家も土石流につながると指摘しています。また、東京から名古屋までのトンネル工事などで出た残土は、未だに最終処分が決まっていないところがあります。処分が決まらない場合は一時盛り土として保管されます。（長野県側の出口大鹿村で出された残土は小渋川に積み上げられている）残土には放射線を含む重金属の含まれた廃土の危険性も懸念され、南ア・トンネル工事でヒ素やカドミウムなどの重金属を含んだ「要対策土」が発生する場合は、JR 東海は10万㎡を上限に、藤島沢で処分するとしています。これが土石流となれば大井川の流域7市、60万人の上水道に影響を及ぼします。熱海の土石流を教訓に、残土処理が災害を生み、飲み水に影響を及ぼす危険があること、そして自然破壊を招くことを学び、リニア建設を直ちに中止すべきです！